

回数も最多にして之に次で厚澤部川上流域及び丸山臺地の北部より鶉村西半部即ち大丁岱以西鷹落附近にありて館村を中心に北西より南東に貫く長徑楕圓狀に漸次擴大して震度微弱に而して其振動區域は北西面は南東面に比し遙に廣大の地積を占む更に各地の振動方向を連結するに其副射點は凡そ丸山臺地の南部附近に集合するが如く館及び當路の強震地は恰も此幅射地域に屬す、當路にては既に該地震發生の約二十日前來井水減少の變兆あり鶉村部内大丁岱方面にても約一週間前に同じく井水の變化を認められたるは丸山臺地附近地層内に弱點發生の結果とも見られ今回の地震は即ち其變動に起因するが如し尙此附近地表異狀の有無を知るの要あるも積雪五尺の堆深にして實地踏査不可能なりしを以て他日の機會に譲れり、各地の震度及び振動並に庭、土間、龜裂方向等別紙圖面に記入添付す。

## 昭和四年一月二十日の地震

### 室蘭測候所報告

一月二十日九時〇八分五十八秒及十九時二十四分十四秒に當地方に微震ありたり當所地震計の記錄紙より調査するに當時は白老沖海底に震源あるものの如かりしも其後の調査に依るに有珠郡德舜督附近に震源あるものの如し

此の地震に付て調査せし事項左の如し

一、苦小牧町にては九時九分頃音響を伴ひたる水平動地震ありて其音響は北方より來たるものの如し十  
九時二十五分頃にも地震あり前回のものより稍強かりし

一、室蘭線錦多布驛員の談

九時九分頃列車の通過するが如き音響ありたるを以て或は樽前山の爆發では無いかと思ひ同山を見たるも何等異狀なく反つて地震を感じり地震は稍や強き方にて事務室南面に掛けたる時計の振子止りたり

一、白老村にて聞きしもの

白老村にては近來珍らしき程強き地震にて家屋の動搖あり、白老沼の氷(厚さ一尺餘)には龜裂を生じたる外炭燒竈の破損等ありて六回の地震を感じ且音響ありたりと云ふ。

一、長流川流域幡緩溫泉場員の談

雪崩の如き音響を伴ひ近來稀有の強き地震にて家屋の動搖甚だしかりしと云ふ

一、徳舜齋村役場報告

近頃稀有の強き地震にして何れも上下動を伴ひ南東眺別海岸方面に當り恰も大砲の如き音響あり、二十日九時九分頃の地震を初發とし強きもの六回弱きもの數回ありたるも時刻明らかならずと尙翌二十一日にも三回の稍や強き地震ありたるも被害なかりし又北海タイムス紙によれば、溪珠に於ても三十日九時十五分より三十五分間に三回の強き地震あり屋外に飛び出したるものありて遠雷の如き鳴動ありたりと云ふ。

以上今回の地震を見る白老附近より北西に壯溪珠附近まで直線に音響を伴ひて地震を感じしものもの如し噴火灣方面には何れも地震を感じざりき。